

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 安土桃山時代

名前

得点

/8

**問1** 戦国時代を終結させ天下統一を成し遂げた豊臣秀吉は、1587年に「バテレン追放令」を出しました。秀吉が宣教師の国外追放を命じるに至った、当時の背景や考え方として最も適切なものはどれですか。（2018年 愛知公立入試 類似）

- キリスト教の布教が進むことで信者が団結し、自らの国内支配の妨げになることを恐れたため
- 仏教の新しい宗派である日蓮宗の勢力を抑えるために、キリスト教を国教に指定しようとしたため
- 平等院鳳凰堂に見られるような浄土信仰を全国に広め、宗教による平和な世の中を目指したため
- 明治維新の改革の一環として、欧米の思想を完全に取り入れるために古い禁教令を廃止したため

**問2** 15世紀にポルトガルやスペインが新航路の開拓を急いだ背景には、当時の国際情勢が深く関わっています。その背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- オスマン帝国が地中海東部の交易ルートを支配したため、アジアの産物を手に入れるための別ルートが必要になった。
- ルネサンスの影響で科学的根拠のない地球球体説が否定され、地平線の先を確認しようとする探検家が増えた。
- イギリスで発生した産業革命による大気汚染を避けるため、王族や貴族が移住先として新大陸を求めた。
- モンゴル帝国の衰退により、これまで安全だったシルクロードを通じた陸上貿易が完全に途絶えた。

**問3** 織田信長が安土城下などで楽市・楽座を実施した目的として、城下町の繁栄以外に当てはまる背景はどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

- 寺社や公家などの旧来の勢力が、商工業者を通じて持っていた支配力を弱めること
- 特定の豪商に製造と販売を独占させ、そこから得られる運上金を幕府の主要な財源にすること
- キリスト教の布教を制限するために、商人の活動範囲を城下町の一定区画内に限定すること
- 農民が商業に没頭して農業が疎かになるのを防ぐために、商人と農民の身分を厳格に分離すること

**問4** 1582年の本能寺の変以降、豊臣秀吉が全国を統一するまでの歴史的な流れを整理した記録において、1585年以降の出来事の説明として正しいものはどれですか。（2024年 島根公立入試 類似）

- 1585年に関白に就任した後、天皇の権威を背景に四国や九州、そして関東の北条氏を平定し、1590年に奥州の大名までを従わせて統一を完成させた。
- 1585年に征夷大將軍に就任し、その直後に北条氏を滅ぼして関東を制圧した勢いで、1590年までに四国と九州の全域を占領した。
- 1585年に太政大臣となり、京都に聚楽第を築いて天皇を招いた後、翌年の1586年には既に東北地方の奥州までを含む全国統一を完了させていた。
- 1582年の直後に関白となり、まず関東の諸大名を服従させてから、1585年に関西地方の平定を開始し、1590年に九州を最後に統一した。

**問5** 豊臣秀吉が「太閤検地」において、全国でバラバラだった「升（ます）」の大きさを統一したり、田畑の等級を定めたりした理由として、正しいものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

- 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため
- 農民が自由に土地を売買できるようにして、農業の効率化を図るため
- 武士が自分の領地で勝手に税率を決める権利を強めるため
- 全国の測量技術を向上させ、正確な日本地図を完成させるため

**問6** 日本で江戸幕府が続いていた期間（1603年～1867年）に世界で起こった出来事として当てはまらないものは、次のうちどれか。（2024年 青森県公立入試 類似）

- ドイツでルターが宗教改革を始めた
- イギリスで名誉革命が起こった
- フランスで人権宣言が出された
- アメリカで南北戦争が始まった

**問7** 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の日本の戦いの形を大きく変えることになりました。鉄砲の普及によって変化した当時の戦術の説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）

- 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。
- 弓矢の重要性が高まり、鉄砲の音で敵を威嚇する心理戦が主流となった。
- 防御力重視のため、堀や石垣を設けない簡素な陣地での戦いが中心となった。
- 接近戦を避けるため、水軍による海上からの攻撃のみが重視されるようになった。

**問8** 安土桃山時代、織田信長や豊臣秀吉の勢力を背景に、大名や豪商の気風を反映して生まれた、豪華で壮大な文化を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。（2020年 岩手県公立入試 類似）

- 桃山文化
- 飛鳥文化
- 元禄文化
- 国風文化

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> キリスト教の布教が進むことで信者が団結し、自らの国内支配の妨げになることを恐れたため	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリスト教が急速に広まっている実態を目の当たりにしました。キリスト教徒が神を絶対視して団結することや、一部の戦国大名が領地を教会に寄進している状況が、自身の天下統一後の支配体制に悪影響を及ぼすと判断し、宣教師の国外追放を命じました。一方で、南蛮貿易による利益は重視していたため、貿易そのものは継続させようとしていました。
問2	<b>答え 1</b> オスマン帝国が地中海東部の交易ルートを支配したため、アジアの産物を手に入れるための別ルートが必要になった。	強力な軍力を持ったオスマン帝国が地中海交易の主導権を握り、高い関税を課したことで、従来の地中海ルートでは利益を上げにくくなりました。そこで、イタリアの諸都市やイスラム勢力を介さずにアジアへ到達できる、大西洋を中心とした新しい航路の探索が国家規模で進められました。
問3	<b>答え 1</b> 寺社や公家などの旧来の勢力が、商工業者を通じて持っていた支配力を弱めること	当時の「座」は寺社や公家を本所（保護者）として仰いでおり、そこから上がる収益が旧勢力の資金源となっていました。信長は座を廃止し、市場を自分の直轄支配下に置くことで、これら旧勢力の経済的基盤を切り崩し、自らの統治権を確立しようとしていました。
問4	<b>答え 1</b> 1585年に関白に就任した後、天皇の権威を背景に四国や九州、そして関東の北条氏を平定し、1590年に奥州の大名までを従わせて統一を完成させた。	秀吉は1582年の本能寺の変の後、織田家内での地位を確立し、1585年に関白に就任しました。この地位を利用して四国（長宗我部氏）や九州（島津氏）を順次平定し、1590年に関東の北条氏を小田原攻めで滅ぼし、同年に東北（奥州）の諸大名も服従させたことで、全国統一を達成しました。この過程で関白という立場が、大名たちに服従を迫るための強力な外交手段となりました。
問5	<b>答え 1</b> 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため	それまでは地域や領主ごとに測定基準が異なり、正確な生産量の把握が困難でした。秀吉は「京升」に基準を統一し、土地の良し悪しに応じた生産量を「石高」という単位で検地帳に記録しました。これにより、農民には年貢の負担義務を、武士には石高に応じた軍役（軍事的な負担）の義務を課す仕組みが確立されました。
問6	<b>答え 1</b> ドイツでルターが宗教改革を始めた	ルターによる宗教改革の始まりは1517年であり、これは16世紀初頭の出来事です。日本では戦国時代から安土桃山時代にあたる時期であり、1603年の江戸幕府成立よりも前に起こりました。一方、イギリスの名誉革命（1688年）、フランス革命による人権宣言（1789年）、アメリカの南北戦争（1861年）は、いずれも江戸時代に含まれる期間に発生しています。
問7	<b>答え 1</b> 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。	鉄砲は強力な武器ですが、装填に時間がかかるという欠点がありました。これを補うために、織田信長が長篠の戦いで見せたように、多数の足軽を組織して交代で撃たせるなどの集団戦術が編み出されました。これにより、個人の武勇よりも組織力が勝敗を分ける時代へと移行しました。
問8	<b>答え 1</b> 桃山文化	織田信長や豊臣秀吉が活躍した時代、城郭建築に代表されるような豪華で力強い文化が発展しました。この文化は、新興の大名や豊かな商人（豪商）の活発な精神を反映しており、金箔を多用した障壁画などが作られる一方で、千利休によって茶の湯（わび茶）が完成されるなど、多様な側面を持っています。